

おだいいに!

特集

■外科

■NST(栄養サポートチーム) / 浅香山病院
管理栄養士監修レシピ「豆花(トウファ)」



日本医療機能評価機構認定病院 / 基幹型臨床研修指定病院
公益財団法人 浅香山病院
総合病院

〒590-0018 大阪府堺市堺区今池町3丁3番16号
電話 072-229-4882(代)
<https://www.asakayama.or.jp>



外科



多職種で構成される
外科医療チーム

患者さま一人ひとりへ寄り添い、 こころと身体にやさしい外科医療を提供

● **外科診療体制と特徴**

外科では5名の常勤医師と2名の非常勤医師が診療にあたっています。外傷を含む一般外科や、胃がん・大腸がんなどの消化器がんをはじめ、胆のう結石やヘルニアなどの消化器外科領域を中心に診療しています。急性虫垂炎や胆のう炎などの救急受診にも平日に限り対応可能です。

乳がん・肺がんなどの手術加療が必要な場合には、大病院と協力しながら治療を行なっています。また、精神疾患をお持ちの方にも、院内の精神科医師と連携し、治療を行なう体制を整えています。

● **がんに対する幅広い治療**

当院では、**内視鏡下手術**を積極的に取り入れ、身体への負担をできるだけ抑えながら、質の高い医療の提供を目指しています。

手術に加えて、**抗がん剤治療**、**TAE（経カテーテル動脈塞栓術）**、**ラジオ波焼灼**など治療は多岐にわたります。

また、入院の必要がない**外来化学療法**（抗がん剤治療）や、専用病棟も備えた緩和医療も行なっており、患者さま一人ひとりの状態に応じて、手術や化学療法、緩和医療などを組み合わせた集学的治療に取り組んでいます。

内視鏡下手術

内視鏡下手術は、お腹や胸などに小さな穴を数か所あけて、その穴から内視鏡や専用の器具を入れて治療を行なう手術です。傷が小さいため、痛みや出血が少ないことがメリットです。身体への負担が少なく、回復も早いため、入院期間の短縮が見込まれます。

当院では、内視鏡下手術を第一選択としており、消化器領域で約8割、食道や肝胆膵領域の手術にも内視鏡下手術を行なっています。

また、ハイビジョンのモニタリングシステムを導入するなど、手術精度の向上を図っています。



内視鏡下手術の様子

外来化学療法

▶ 外来化学療法室の治療体制

外来化学療法は、外来で抗がん剤や生物学的製剤による点滴治療を行なうことです。当院では、患者さまが安心して治療を受けられるよう、医師、薬剤師、看護師が連携してチームでサポートし、治療中は、できるだけ快適にお過ごしいただけるよう、静かで落ち着いた環境を整えています。

抗がん剤調製室では、医師の指示に基づき、薬剤師が薬の種類や量を確認した上で、衛生的な環境のもと正確に調製を行なっています。治療中、看護師が薬剤の投与管理を行ない治療状況を観察します。また、薬剤師が「治療スケジュールシート」を活用して治療後の副作用や対処法についてのセルフケア支援も行なっています。

当院では、24時間体制で夜間・緊急時の診察、入院の受け入れや、患者さまからの副作用などに関するご相談にも対応しています。



外来化学療法室



治療スケジュールシート

▶ 抗がん剤治療の進歩

抗がん剤治療といえば「脱毛する」「吐気がひどい」「手足のしびれ」などのきつい副作用のイメージを持たれる方もいるかと思いますが、当院では、薬の種類や量を調整することで、患者さま一人ひとりに合わせた治療を提供し副作用の軽減に取り組んでいます。そのため、今では抗がん剤治療により吐き気をもよおす方は減少しています。副作用対策が進歩したことにより、外来での安全な治療が可能となりました。**日常生活を送りながら治療を受けられる**ということが大きなメリットとなっており、**生活の質(QOL)の維持**に繋がります。



薬剤調製の様子

多職種による外科医療のサポート体制

手術や抗がん剤治療を受けられた患者さまは、体力が落ちたり食事が減ったりすることがあります。当院では、次ページでご紹介する**NST(栄養サポートチーム)**をはじめ、リハビリテーションなど多職種のスタッフが連携して、日常生活に戻れるように、そしてQOLを維持できるようにサポートしています。また、精神的支援が必要な患者さまには、院内の精神科医師と連携して治療にあたっています。

そのほか、内視鏡下手術の一部で臨床工学技士による**スコープオペレーター業務**を導入し、医療機器の専門スタッフが手術中のカメラ操作を担い、医師と連携しながら円滑な手術進行に努めています。

Doctor's Voice

外科とひとくちに言っても、扱う領域や治療の内容は多岐にわたります。日々勉強し、患者さま一人ひとりへ寄り添った適切な医療が提供できるように努めています。

今後も、地域の患者さまからより一層ご信頼いただけるよう、スタッフ一同で協力をしながら頑張っていきたいと思っております。



一般科副院長
外科 藤原有史 医師

NST (栄養サポートチーム)

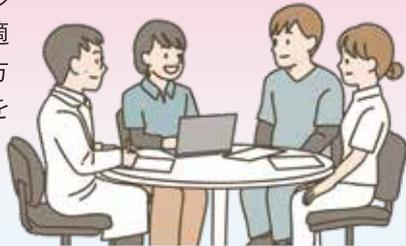
— 『食べること』 へのハードルを下げる —

NST (栄養サポートチーム) とは？

医師・歯科医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・言語聴覚士などの多職種が協力して、有効な栄養管理を検討・支援するためのチームです。

入院中の患者さまの栄養状態の改善、治療効果の向上、合併症予防や入院期間の短縮などを目的としています。

多職種での介入が必要であると考えられる患者さまの栄養評価・回診などを実施し、適切な栄養補給方法の提案などを行なっています。



例えば…がん治療をされている患者さまの場合

抗がん剤治療を行っていると、食欲不振に陥る事があるため、NSTでは様々な対応を行なっています。

例1) 食べやすい料理の選択

アイスクリーム・プリン・そうめんなど、患者さまが食べられそうなものをご自身で選ぶことができるよう、当院では「おはな (セレクトメニュー)」をご用意しています。

ご自身で選択してもらうことで、味覚の変化への対応や、食欲の向上にもつながります。

例2) 薬物面からのアプローチ

食欲不振の原因に合わせて、NSTで薬剤の検討を行ない、主治医と連携を図っています。

浅香山病院管理栄養士監修

豆花トウファ

今回は、台湾の伝統的なデザートを紹介します。

豆花(トウファ)は、豆乳を固めて作る、なめらかな口当たりとやさしい大豆の風味が特徴です。



レシピ 2人前

- ◆絹ごし豆腐 150g
 - ◆無調整豆乳 100ml
 - ◆砂糖 20g
 - ◆粉ゼラチン 2.5g
 - ◆茹で小豆 適量
 - ◆キウイ 適量
 - ◆いちご 適量
- 【シロップ】
- ◆砂糖 50g
 - ◆水 150ml

栄養価 (1人分) シロップ込み

エネルギー : 336kcal
たんぱく質 : 9.7g
炭水化物 : 70g
脂質 : 4.3g

温かいシロップでも美味しくお召し上がりいただけるので、食欲のない方にもおすすめ!

作り方

- ①豆腐をザルでこす。
- ②鍋に豆乳・粉ゼラチンを入れて中火にかけ、混ぜながらゼラチンを溶かし、こした豆腐を入れてよく混ぜる。
- ③沸騰させないように鍋の縁回りがふつつつしてきたら耐熱容器などに流し入れ、粗熱をとり、冷蔵庫で冷やし固める。
- ④小鍋に【シロップ】の材料を入れて中火にかけ、砂糖が溶けたら火から下ろして粗熱をとり、冷蔵庫で冷やす。
- ⑤③をスプーンですくい器に盛り付け、食べやすい大きさに切ったいちごやキウイ、茹で小豆など好みの果物をのせ、シロップをかけて完成。

Point!

豆腐や豆乳に含まれているたんぱく質が豊富に摂れます。さらに、小豆やキウイ・いちごなどを加えると食物繊維やビタミン・カリウムも摂れるため便秘改善や血圧低下が期待できます!